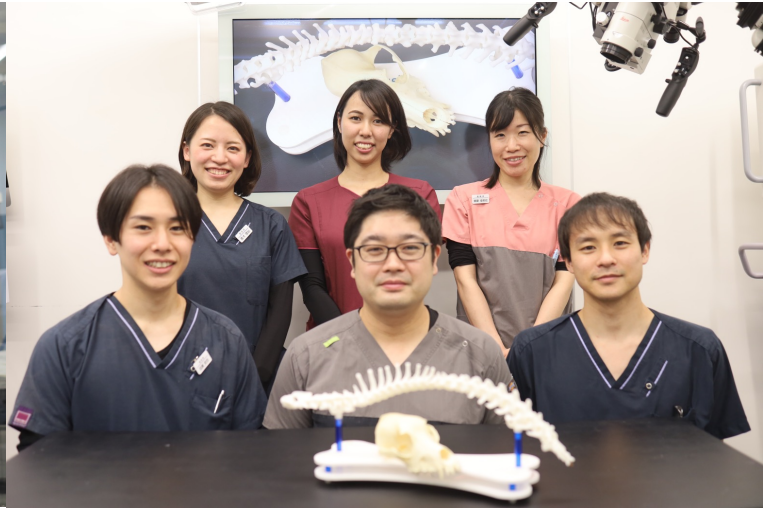


# 小滝橋動物病院グループ 整形・神経・リハビリテーション科のご紹介



整形・リハビリ科チーム



神経科チーム

## チームのご紹介

小滝橋動物病院グループでは、年間約300症例の整形・神経外科手術を行っています。整形・リハビリ科は動物医療センター元麻布の院長磯野、本駒込動物病院院長の多喜、神経科は新目白通り第2高度医療センターの院長大竹、獣医師武藤を中心に診療しています。

整形外科は動物医療センター元麻布に3Dプリンターを導入することで、術前計画を正確に立てることで、今まで変形矯正することが難しかった症例も治療可能となりました。

神経科では、てんかんの早期発見・治療を行うことに力を入れており、年間約300症例のMRI撮影を行っています。また、脳外科もスタートし、動物医療を人の医療に近づけるべく、チームで取り組んでいます。

2023年には総合医療センター設立を目指しており、ご紹介いただいた獣医師の皆様のお力になれるよう一層励んで参ります。

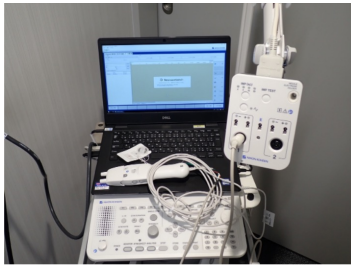
## リハビリテーション専門医（非常勤）の紹介



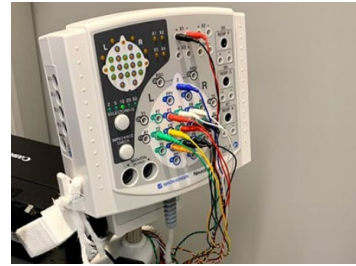
獣医師：小笠原 茂里人（おがさわら もりと）  
資格：獣医師、C.C.R.P  
(米国Certified Canine Rehabilitation Practitioner：2007年取得)  
出身大学：北里大学獣医畜産学部獣医学科

2006年にテネシー大学のC.C.R.Pコースを修了し、2007年に認定取得。動物リハビリテーションの臨床に携わり、理学療法をより深く学ぶ必要を感じ、リハビリテーション医学会や理学療法士学会の学術集會に参加、発表を行ってきた。現在は日本における動物リハビリテーションの普及と同分野における理学療法士の活躍の場を広める活動に取り組んでいる。

特殊医療機器一覧



筋電図



脳波計



PLDD



3Dプリンター



PRP



手術用顕微鏡

整形外科・神経外科手術症例一覧

整形外科・・・

中手骨、橈尺骨、上腕骨、大腿骨、脛骨骨折など四肢の骨折  
 骨盤骨折、脊椎骨折、椎体骨折、成長板骨折、下顎正中骨折  
 膝蓋骨内方脱臼、膝蓋骨外方脱臼、股関節脱臼、肘関節脱臼、肩甲上腕関節脱臼、  
 手根関節脱臼、足根関節脱臼、踵骨脱臼などの脱臼  
 前十字靭帯損傷、離断性骨軟骨炎

神経外科・・・

椎間板ヘルニア（頸部・胸腰部）、環軸椎亜脱臼、環軸椎不安定症、馬尾症候群、髄膜炎、  
 キアリ様奇形、脳外科

お知らせ

小滝橋動物病院グループの関連企業であるMid Tokyo Vetsでは愛玩動物看護師国家試験に向けた試験対策サービスを提供しています。  
 模擬試験や練習問題、セミナーなど様々なコンテンツを提供していますので、ぜひご活用ください。

# 健やかに中高齢期を過ごすために おさえておきたい3つのポイント！

## 1. 中・高年齢期っていつから？

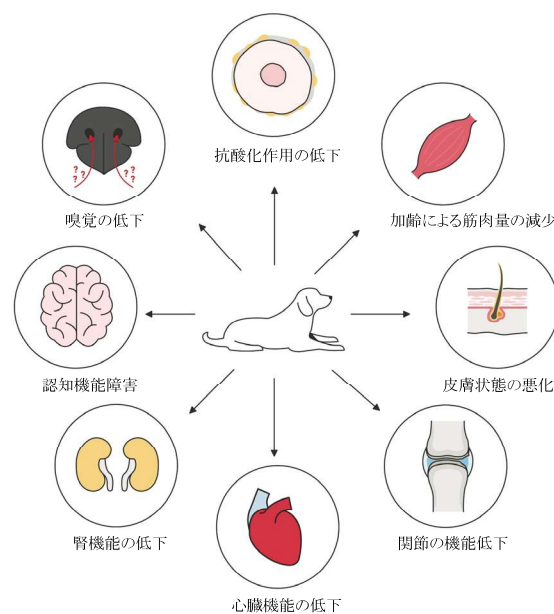
一般的に寿命の約1/2を過ぎると中高齢期、約2/3分過ぎると高年齢期としています。国内の犬猫の平均寿命は14～15歳\*ですので、7～8歳ぐらいから中高齢期、10～12歳ぐらいからが高年齢期に該当すると言えます。

				
<b>中高年齢期</b>	7歳	8歳	7歳	5歳
<b>高年齢期</b>	12歳	12歳	10歳	8歳

\*ペットフード協会 令和3年全国犬猫飼育実態調査

## 2. 中・高年齢期の身体の変化

加齢による身体の変化は、急に起こるものではなく、目に見えないところで少しずつ進行していきます。筋肉量の減少、関節機能低下などによる運動能力の変化、認知機能障害などによる好ましくない行動の発現などが含まれます。関節の問題は猫にも多く、12歳以上の90%が関節に問題を抱えていたという報告があります。



(図)加齢に伴って認められる主な徴候や関連する病態(犬)

## 3. 中・高年齢期の食事管理

7～8歳以降に必要な栄養管理のポイントは大きく3つ！

※詳細は次のページをご覧ください



# 7歳になったら食事を変えよう

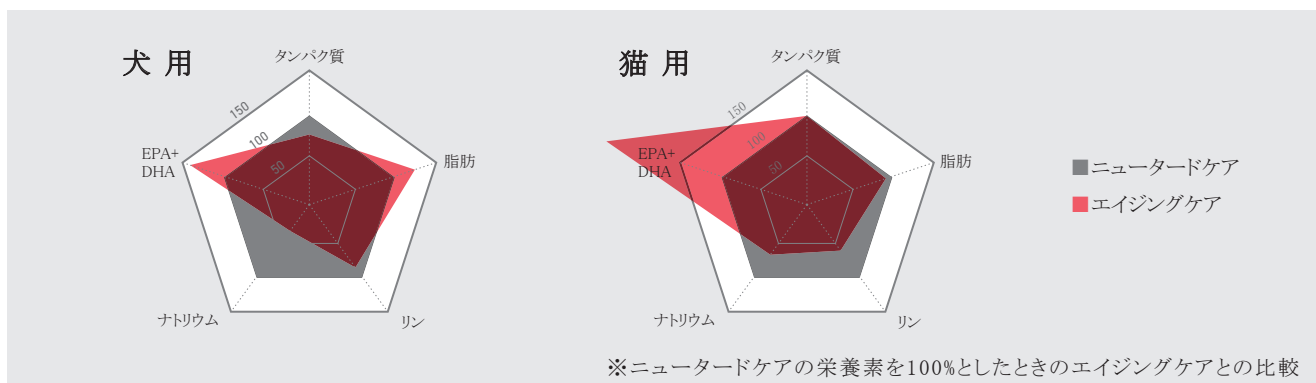


## 食事始めるエイジングケア

### 中高齢期に合わせた栄養管理を

中高齢期の変化に合わせて、栄養素の調整された食事を選びましょう。

- 1 筋肉量の維持のため、消化性の高いタンパク質を配合
- 2 リンやナトリウムなどの栄養素を少なく調整
- 3 EPA+DHAなど、中高齢期の健康に必要な栄養素を増加



## 7歳以上の健康な犬や猫に エイジングケア

- **高齢期の腎臓・脳などの健康維持**  
腎臓に配慮してリンの量を調整し、脳の活力維持のためにフォスファチジルセリンやL-トリプトファンを配合。
- **下部尿路の健康に配慮**  
ストルバイト結石およびシュウ酸カルシウム結石が発生しにくい下部尿路環境のためにミネラル成分を調整。
- **歯の健康維持 <犬のみ\*>**  
歯の健康維持のためにポリリン酸ナトリウムを配合。  
※ ドライのみ
- **筋肉量の維持**  
筋肉量を維持するために分岐鎖アミノ酸 (BCAA) を含有するタンパク質を配合。
- **組織や細胞の健康を維持**  
活性酸素を考慮して組織や細胞の健康を維持するために、複数の抗酸化物質を配合。
- **関節の健康維持 <猫のみ>**  
関節軟骨成分であるグルコサミン、コンドロイチンを配合。



※キブル、ローフのサイズは実際とは異なります。



**本駒込動物病院**  
東京都文京区本駒込2-27-10  
Tell:03-5319-1910



**動物医療センター 元麻布**  
東京都港区元麻布3-1-34  
Tell:03-6384-5351



**新目白通り第2高度医療センター**  
東京都豊島区高田3-20-11  
Tell:03-5958-5512



**もみじ山通りペットクリニック**  
東京都中野区2-1-8  
Tell:03-5942-4455



**小滝橋動物病院**  
東京都新宿区百人町4-9-2  
Tell:03-5332-6866

	本駒込動物病院	動物医療センター 元麻布	第2高度医療センター	もみじ山通りペットクリニック	小滝橋動物病院
整形外科	○	○	○		
神経外科		○	○		
リハビリ		○	○	○	○

